

■ 楠隼中学校・高校だより

全国から生徒たちが集う全寮制中高一貫教育校



中学校「ディスカバリー大隅」が行われました

自分たちの住む大隅の歴史・文化・産業への意識を高め地域理解を深める機会として、1年生を対象にディスカバリー大隅を5月19日に実施しました。

ヒストリーコースとインダストリーコースに分かれ、それぞれ役割分担や学習のまとめ方などを計画し、体験学習を進めました。

白澤良太郎君は「歴史資料館を見学して、昔の人々の生活を身近に感じることができて良かった」と感想を述べました。

なお、学んだことは班ごとに新聞形式のレポートにまとめ、文化祭で掲示しま



した。

○ 菓丸野太刀自顕流体験

中学校1年生を対象に「菓丸野太刀自顕流体験を通して鹿児島島の良さを知る」活動を6月10日に行いました。

高山道場と谷山道場から講師を招き、薩摩の文化や薩摩琵琶について話を聞いた後、実際に「続け打ち」の指導を受けました。生徒たちは意欲的に取り組み、休憩時間も自主練をする姿が見られました。師範からも「大きな声が出ている。返事も良い」と褒められました。小脇結翔君は「鹿屋に十二年住んでいたが、自顕流の体験は初めてだった」と感想を述べていました。



高校「1年生ディスカバリー大隅」を行いました

高校1年生を対象とした「ディスカバリー大隅」を5月26日に実施しました。

天気にも恵まれ素晴らしい時間を過ごすことができました。

「ディスカバリー大隅」は学校のある肝付町とその周辺にある、歴史・文化・産業に関する施設をめぐりながら、地元への理解を深めると同時に自分自身の興味・関心に気づくことを目的に毎年行われています。



午前は吾平山陵・塚崎古墳群・塚崎の大楠を、昼食後は二階堂家住宅・えこふあーむ、そして内之浦宇宙観測所を見学しました。

それぞれの訪問先では、学芸員や担当者から直接説明を聞くことができ、大変貴重な体験をすることができました。

最後の訪問先である内之浦観測所では、普段は立ち入ることができない施設の中を見学することができ、生徒も興奮した様子で説明に聞き入っていました。